

令和8年2月20日

吉見町長 神 田 隆 様

吉見町総合振興計画審議会
会 長 小 林 泰 夫

第六次吉見町総合振興計画後期基本計画（案）について（答申）

令和7年12月24日付け吉発第3724号で諮問のあった第六次吉見町総合振興計画の後期基本計画（案）について、当審議会は活発かつ慎重に審議を行った結果、原案を妥当と認め、下記の意見を付してここに答申いたします。

記

1. 町民一人ひとりが持つ多様な関心や能力を生かせる場を創出し、行政、事業者、各種団体が一体となり、計画の推進を通じて地域全体の連携を深められたい。
2. 「よしみスタイル」の理念に基づき、限られた資源の中で最大の効果を発揮できるよう、優先順位を明確にしたうえで、計画を着実に実行されたい。
3. 人口減少が避けられない状況を認識しつつも、町民一人ひとりが豊かさを実感できるまちづくりを、長期的な視点と強い決意をもって推進するとともに、この状況下でも町民の期待に応えるため「ライフステージ別目標」の達成に向け、既存の枠組みを超えた横断的な施策を積極的に展開されたい。
4. 頻発する自然災害に対応するため、地域社会との連携を強化した防災・減災対策を推進するとともに、多岐にわたる社会状況の変化を敏感に捉え、施策に反映させる取組を進められたい。
5. 行政は全庁的な意思統一を図り、将来像実現に向けた役割と責任を明確にするとともに、分野別個別計画の策定にあたっては、長期的な視点から町の持続的な発展に貢献するよう努められたい。
6. 計画の実効性を担保するため、自主財源の確保に一層尽力し、限りある財源と人的資源を効率的かつ効果的に活用する行財政運営に努められたい。
7. 本計画策定にあたり寄せられた、町民の声や審議会委員の意見を、施策の実施段階においても十分に尊重し、継続的な対話に努められたい。